

# 上田 秀一郎

【うえだ・しゅういちろう】 Shuichiro Ueda  
太鼓奏者 Taiko Soloist



1976年、神戸出身  
高校時代太鼓に出会い、阪神大震災後被災地で激励演奏を行う中、太鼓の力に感銘し、卒業後『和太鼓一路』ヨーロッパツアー参加。

帰国後、地元神戸の『和太鼓松村組』創設に参画

以後年間中心メンバーとして活躍する。

1998年太鼓ソリストの最高峰、林英哲氏に師事。

「英哲風雲の会」メンバーアシスタントとして全国各地で演奏。

以後中心メンバーとして97年以降、国内・海外での林英哲ツアー

コンサートに出演。

2004年より本格的にヨーロッパ活動を開始し、三枝成作曲太鼓協奏曲

「太鼓について」ヘルム公演にてオーケストラ現代曲のソリストとしてデビュー。

2005年、CLUB CITTA川崎「オリエンタルナイト」総合プロデュース。

自作のコンサート「赤い黒」を皮切りに、木乃下真貫(津経三味線)、

土井啓輔(尺八)、谷川賢作(ピアノ)、鈴木和郎(ピアノ)、

田村真寛(サックスフォーン)、中川かりん(二十五弦琴)、

田中博一郎(笛)と様々なジャンルのミュージシャンと共に、

独自の音楽世界を表現し続いている。

2006年より内閣官邸プロデュース「NEW YEARS WORLD ROCK FESTIVAL」に連続出演。

2007年1stCD「太鼓奏者の鈴木和郎のライバル」Last Summerをリリース。

2008年、平成中村座「夏祭浪花鏡」に太鼓奏者として出演し、

ドイツ・ルーマニア公演、コーン歌舞伎、信州さともの大歌舞伎に参加。

2009年、「珠響～たまゆ～」に、三豊市(嘘子)、稻本智(アリア)、

藤原道山(足り)、村治佳継(ギター)と共に、和・洋のジャンルを超えた

コンサートをサントリーホールにて競演。

09年2ndCD「歌舞伎囃子・笛の田中傳十郎とのライブアルバム」「いちとじゅう」をリリース。

## \*英哲風雲の会メンバーとして参加!

12月6日(月) サントリーホール  
林英哲ソロコンサート2010「月山」  
OPEN18:30 START19:00  
全席指定 S席7,000円 A席6,000円  
B席4,000円 学生席3,000円

■問い合わせ先:  
英哲太鼓の会 ☎ 03-5766-5025  
\*今年最後のソロライブ!  
太鼓・上田秀一郎ライブ  
「南青山曼荼羅の宴2010」  
12月27日(月) 南青山MANDALA  
OPEN18:30 START19:30  
自由席 3,700円  
■問い合わせ先:  
楽インターナショナル ☎ 03-6427-3239

## ▶太鼓を始めたきっかけ

高校時代に担任教師に勧められて同好会を結成し、学校の文化祭で演奏したのが最初のきっかけです。

そしてその3ヶ月後に阪神大震災が起こりました。多くの人たちが自分たちを助けてくれていた神戸の地で、自分にも出来ることは何か?と考え、被災地に激励演奏を行きました。想像を超えた現地の状況を目の当たりにした体験と、自分の演奏を聞き終わった時に被災された方々の涙とともに「ありがとう」という言葉を直接いただいたこと。このふたつは太鼓打ちをさらに続けていくこととあらたに考えるきっかけとなりました。

## ▶太鼓の魅力

いろいろあるのですが、ひとつに絞るとすれば私は、なんといっても「圧倒的な音圧」だと思います。

世界各国に太鼓というものはありますが、その中でも日本の太鼓に使用されている皮が一番厚いのです。

そして大きさは、一番大きいといえるでしょう。そこから生まれる「音」には「圧」があります。全身を感じられる「音」。これはほかの楽器には無いものです。

## ▶とても強く張られた皮と一本の大木を使用した大きな胴

この太鼓本来の「音」を鳴らすためには、カラダ全体を使っての「演奏技術」が必要となってきます。その「演奏技術」を習得するためには、日々の鍛錬はもちろんのこと、「無駄のない動き」の習得が大切です。そこから生まれる「演奏所作」に、私はとても日本的な精神性を感じます。

現在、世界で日本の太鼓演奏が盛んになってきている理由のひとつに、このような魅力があるからかもしれません。

## ▶目標、夢、次世代に伝えたい事

太鼓は、夏祭りの盆踊りのやぐらにも見かけるように、わたしたちにとても親しみのある樂器です。また現在、太鼓を打つ人達も老若男女問わずとても増えています。

しかしながら、その一方で「太鼓奏者・演奏家」が職業として認知されていないと感じています。私はその現状を少しでも変えたいと考えます。そのため舞台芸術としてクオリティの高い演奏を目指しています。そしてより多くの方に聴いていただけるよう、これからはソロコンサート活動も力を入れてていきます。

これから始める人が、「太鼓演奏家を目指したい」とひとりでも多く言えるよう、まずは自分のできることからひとつずつ進んでいきたいと思います。

## ▶同志会に伝えたいたい事

まずは、会長をはじめ同志会員のみなさまとの出会いに感謝を申し上げます。

このご縁を大切にし、「音楽」を通じてみなさまとさらに深く繋がっていくよう、努力していきたいと思います。

## ▶これから、どうぞよろしくお願いいたします。



## 毎年恒例 ロサンゼルス新撰組ソフトボール大会開催!!



## ソフトボール大会開催!!

全員集合! 記念にパチリ!

HAPPY 50TH BIRTHDAY! MANABU  
10月18日、遊びに来られた同志の山川学塾長の50才の誕生日のお祝いに空にメッセージが!  
おめでとう! ありがとう!

## 小山武仁さん めざましテレビ出演!

同志の小山武仁さんがフジテレビのめざましテレビ(5時25分~8時放送)にインタビューされました。

内容は「円高・夏休みに海外旅行に行く人向けにお得な情報を提供する」というものでした。

きっかけは、マイクロソフトのMSNマネーというサイトにコラムを書いていたこと。そのコラムを見たフジテレビの担当者が問い合わせがきました。

MSNのコラムは生命保険・住宅ローン・株式投資などをメインに書いていたのですが、新撰組の話やロス

に行った時の話などをコラムの担当者に話していました

ところ「じゃあ為替も書いてよ。為替を書ける人少ないんだよね。」と言われ、あまり得意分野ではなかったが挑戦の気持ちで為替についても執筆するようになりましたとのことです。

小山さんからのメッセージ「今実力でできないからと諦めたりするのではなく、どうしたらできるようになるんだろうと前向きにチャレンジしてきたことが一つの形になったのかと思

います。これからも自分の可能性に自分で限界を作ることがないように、どんどん新しいことにチャレンジしていきたいです。 MSNマネー http://money.jp.msn.com/

## SRC

## 泉浩選手3連勝!!

SRC15が10月30日、東京・両国国技館で開催され、泉浩選手がファイナルで18勝5敗2分の戦績を持ち難敵ジエムス・ジキック選手と対戦しました。長身のジエムス・ジキック選手相手に苦戦しましたが、終盤にテークダウンに成功し、泉選手が判定2-1で接戦を制しました。



新撰組同志会10条 一、個々の喜び、悲しみを皆で共有する。二、個々の情報を皆で共有する。

三、私利私欲に走ってはならない。四、同志の誹謗中傷をしてはならない。五、同志一人一人が眞の幸せになる事を大義とする。六、義理人情を後世に残す。七、眞の人間のあり方を個々が追求する。八、同志一丸となって社会貢献に心掛ける。九、威張らない、怒らない、ほやかない。十、笑顔と挨拶を忘れずに。

# 夢 Dreams

新撰組同志会は、あなたの夢を応援します!



北川 伊沙  
(きたがわ いさ)

私の将来の夢は皮膚科医になる事です。  
医師になりたいと思ったのは、生まれた時から肌が弱く、よく病院に行っていたことです。医師の仕事を目にする事もあり、医療が私にとってあまり遠い存在ではなかったのです。

今、現在の私は病気を治してあげることはできないけれど、友達が悩んでいる時に相談にのってあげたり、電車で席をゆずってあげたり、困っている人を助けてあげたい。

今は、部活(バレーボール)と勉強の両立てでくじけそうになる時もありますが、体力をつける事も将来のためには大切だと思います。

“今”できる事、“今”だから学べる事、“今”を大切にして目標に向かって努力していきたいと思います。

わたしは、なつやすみにほんにいました。

にほんのがっこうでいっぱいともだちをつくりました。そしてまいにちがっこうからかえってくるとき、あせびっちょりおでこについてびっくりしました。にほんはアメリカよりあつかったです。こんどは、ふゆにいってみたいです。

にほんのメールボックスは、あかいでおおきてびっくりしたのでしゃしんをとりました。おかあさんは、それをみて「なつかし〜!」といいました。

私は19歳で大学2年生で現在法医学部の大学に通っています。

私の夢はアナウンサーになることです。昔テレビでバラエティー番組でて楽しんでいる芸能人を見て、こんな楽しそうな仕事につけいいなと思ったのがきっかけでした。

最初は俳優などとにかくテレビでて仕することとても魅力を感じていました。しかし、中学から高校、高校から大学へ進むにつれてこの世界の現代社会の勉強をするようになりそれが自分にとって興味のあるものであることだと気付きました。そして、この興味ある勉強とテレビ界で仕事をしたいという昔からの憧れからアナウンサーが一番なりたい仕事であると思いました。

昔は目指す夢として口にしていたのが良かったのかもしれません。今はそのために努力しなければなりません。そして、アナウンサーになることがどれほど大変なことなのか自覚しなければなりません。アナウンサーになるためにしなければならない何かを自分でいろいろと見つけ、それを一生懸命やることが夢達成に一番近いことだと思います。そして、将来アナウンサーとして自分の生きがいとなる仕事につけるように頑張ります。

ありがとうございました。

押忍! まごころ御茶ノ水本店の沢修一と申します。

自分がまごころに入つてもうじき1年が経とうとしています。

環境すべてが新たになりそのなかでたってきました新たな出会いに感謝して毎日を過ごしています。

今年1年はもう残り少なくなってきたのですがその期間も押忍の精神で行きたいと思っております。

そして来年以降、たったの1年ではありますがその精神をベースとして新たな自分探しの旅をこれからも続けていきたいと思っております。

その先に見えるであろう絶景を今迄お世話になった人たちも含めみんなで見る。それが今の自分の目標であり、夢です。

追伸 若輩者ではありますがこれからも宜しくお願ひいたします。

押忍。

「夢」それは自分の城を築くこと。  
そこにはいろいろな人が集い皆、笑顔だ。

言葉は重要でない、心で繋がる。

今は、その主としての「人間力」を養う為の試練だと、自分の置かれている状況を前向きにとらえ、消化し、日々を過ごしています。

約1年前に状況が変わった。それによって自分を客観的に見直せる期間をもてた。そして、いい意味での“欲”が芽生えた。

今は、それを大切に育てています!

西郷さんは、畠仕事に出られるときは、みずぼらしいかっこをした百姓姿だったので、どこかの誰かわかりません。そんなとき、道で出会った侍の若者が、「オイ、おやじ、おれの下駄の緒が切れたから立ててくれ」と足をつきだすと、西郷さんは「ハイハイ」と答えて、すぐに緒を治してやると、その若者は次には「はかせぬか」と足をつきだしたので、足にはかけてやると若者はろくに見向きもせずに立ち去ったそうです。

それから、ずっとあと、その百姓姿のおやじが西郷さんだとわかつて、若者はとても驚き、早速、西郷さんのところに行き、頭を地面にこすりつけて、前の無礼を謝ったそうです。しかし、西郷さんはにこやかに笑って、一言もがめなかったそうです。

西郷さんが亡くなつて百三十年が経っていますが、いまに多く人々に愛され続けている理由。それは、まさに「敬天愛人」の思想です。

自分を愛する心をもって、今、目の前にいる人に優しくすることが出来たら。今、目の前にいる人に手を差し伸べることが出来たら。今、目の前にいる人に感謝し、手を合わせることが出来たら。この世の中から争いが無くなり、平和で素晴らしい国、そして世界になると思います。